

別所温泉 大湯

小林拓巳
藤森博夢

目的

別所温泉にもっと若い人たちにも来てもらいたいと思い、別所温泉にある大湯について調べるため現地へ行ってきました。なぜあまり若い人達が来ないのか、どうすれば興味を持ってもらえるかを考えていこうと思います。

別所温泉のあらまし

別所温泉は、昔から自然に湧き出していた温泉です。各所から湧き出す温泉を共同浴場となり、旅館街が活気づいていきました。

昭和31年塩田町となり財産区を設定、別所温泉の管理営業は財産区議会に移り、昭和45年上田市に合併し別所温泉財産区となりました。



木曾義仲（源義仲）が上洛の機をうかがっていた頃“葵の前”
としばしば入浴していたので葵の湯ともよばれています。



別所温泉は単純硫黄泉で、胃腸病・リュウマチなどに効果があるほか肌を滑らかにする泉質があります。

入浴料金は1人150円で営業時間は6時から21時半となっています。



お風呂の種類は男女別内湯各一つ、男女別露天風呂各一つとなっています。

上の写真は男湯の内湯です。露天風呂はお客さんが居たりして写真を撮ることが出来ませんでした。



↑こちらが義仲の愛した葵の石碑になります。

←外に出て目の前の所でお湯を持って帰ったりもできます。



大湯の近くには足湯もあり、無料で入ることが出来るのでもし行ったら入ってみてください。

大湯の他にも大湯と同じく150円で入れる温泉が2か所あり、足湯ももう1か所あります。